

浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年7月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

かし和家の歴史から見えてくるもの



かつてのかし和家店舗(山岸嘉一氏提供)



富山県から かし和家初代の山岸嘉吉が辿った経路



山岸嘉吉(山岸嘉一氏提供)

駅前のおそば屋さん

7月4日、近江幹太さんを店主に、浦幌駅前のおそば屋さん「かし和家」がリニューアル・オープンします。かし和家は、戦前から浦幌駅前で営業を続ける、町内に残る老舗店舗のひとつです。

かし和家を創業した初代店主の山岸嘉吉の足取りをみると、おそば屋さんという文化が、どのようにして北海道の町村へ入り、定着してきたのかをうかがいすることができます。

かし和家ができるまで

嘉吉は、1874(明治7)年、富山県生まれ。1902(明治35)年ころ、函館駅前のおそば屋さん丸南(マルミナミ)で修行をしていたと、伝えられています。

丸南で出会い、共にそば修業をしたのが釧路のおそば屋さん東家の伊藤竹次郎です。山岸は伊藤と親交を深め、伊藤が釧路へ移ると共に自らも移転。そうした縁から、かし和家のそばも釧路東家と同じ、緑色の「やぶそば」になったといわれています。

風俗史の視点から

嘉吉の足取りをみると、明治時代、函館や釧路が、文化の出入り口であった様子がうかがえます。また、山岸と親交のあった伊藤は、函館の前に小樽にいました。小樽もまた、北海道の玄関として永く栄えた都市でした。

北海道そば史の上で重要な3都市が登場するかし和家の歴史は、現代とは違った人や文化の流れを伝えてくれるのです。

(浦幌町立博物館学芸員 持田 誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

卒業論文



浦幌ヒグマ調査会に所属する酪農学園大学の大学生たちが執筆した卒業論文。こうした、地域を用いた研究の成果も、博物館は収集しています。(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『ロシアのチョコレート包み紙』ソ連時代のかawaiiデザイン』



小我野明子・イーゴリ・スミレンヌイ著
青幻舎/2022年1月28日発行

1950-80年代にかけて製造されたソ連時代のチョコレートの包み紙が約300点収録されています。お菓子を食べる時間の楽しみに花を添えてくれたことでしょう。

それらは可愛らしさだけでなく、独創的なデザインでソ連の歴史や社会情勢をも表現する奥深さを併せ持っています。

著者は、奈良のちいさなロシア雑貨店「マールイ・ミール」を営む小我野明子さんと、ロシア雑貨のコレクションを保管している雑誌『タラ・イ・ウパコフカ』編集長のイーゴリ・スミレンヌイさんです。

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

【配架場所】

商業コーナー

分類記号→ 671.5 コ

7月の博物館お知らせ

お知らせとお詫び

4月1日より、職員数が減少となったため、土日祝日の展示室への職員配置ができない場合があります。また、電話がなかなかつながりにくいこともあります。職員不在の際は、となりの図書館カウンターへご伝言ください。ご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ありません。

企画展

かし和家の歴史

5月21日(土)

7月18日(月・祝)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

協力:藪そば かし和家



博物館講座

博物館はなぜかし和家を調べるのか？ —風俗史の視点から—

7月2日(土)

14:00~15:30

場所:博物館

講師:持田 誠(当館学芸員)

申し込み不要・参加自由



月例調査観察会

豊北植物調査会

日時:7月2日(土) 9:00~12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。



ふるさと探訪

JRヘルシーウォーキングをあるく

7月16日(土) 12:00~15:30

集合:12:00 浦幌駅

定員:40名(電話・メールで申込受付)

今年から「JRヘルシーウォーキング」として開設したフットパスコースを歩きます。

詳細はチラシやこちらをご覧ください。



移動博物館

ウチダザリガニバスターズ

日時:7月31日(日) 13:30~16:00

集合:13:30 浦幌町立博物館集合

定員:小学生以上20名(電話・メール受付)
(小1-3は保護者同伴)

生態系保全のため、外来種ウチダザリガニを捕獲して観察。水辺の自然を考えます。

浦幌の自然を楽しむ会・浦幌町立博物館共催



常設展示一部閉鎖について

常設展示室内に設置されている十勝太若月遺跡の「土壌墓」コーナーのガラスが、永年の劣化により5月に破損してしまいました。

このため、現在、破損部分の周辺に囲いをしているほか、今後、一部空間の閉鎖などの対策をとる予定です。

ご不便をおかけいたしましたして申し訳ありません。今後の処置が決まりましたらお知らせいたします。

入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

7月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日:月曜日・祝日の翌日

29日(金)は資料整理日で休館です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料
帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com